

**閉会中も県内・県外で調査を実施し、積極的な委員会活動を行っています。**  
県議会に設置されている委員会は、閉会中でも担当する所管事項について、審議の参考とするために、現場に向いて調査活動を行っています。  
今回は、常任委員会の主な調査状況を紹介します。

### 総務企画常任委員会

#### ◎総務企画常任委員会委員

委員長：安孫子哲、副委員長：川野辺達也  
委員：中沢丈一、黒沢孝行、星野寛、  
福重隆浩、井田泉、井下泰伸、  
酒井宏明、泉澤信哉

#### ◎県外調査

★平成29年7月19日(水)～21日(金)



大宜味風力発電実証研究設備にて

① 沖縄県商工労働部アジア経済戦略課（沖縄県那覇市）

国際戦略やイメージアップ事業の参考とするため、「沖縄県アジア経済戦略構想」の推進や同課が所管する株式会社沖縄県物産公社（「わしたショップ」を全国展開）の取組について調査を行いました。

※「わした」とは、「私たち」を意味する沖縄の方言

② 沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課（沖縄県那覇市）

コンベンション誘致活動への参考とするため、日本有数のキャンプ地である沖縄県のスポーツを活用した新たな魅力の創出や県内外へ情報発信を行うスポーツコンベンションの取組について調査しました。

③ 沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課（沖縄県那覇市）

国際交流活動の参考とするため、「世界のウチナンチュ大会」など特徴的な交流推進事業を展開する沖縄県の取組について調査を行いました。

④ 万国津梁館（沖縄県名護市）

コンベンション施設運営の参考とするため、九州・沖縄サミット首脳会合をはじめ、数多くの国際会議や学会が開催されている同施設の現状について調査を行いました。

⑤ 大宜味風力発電実証研究設備（沖縄県国頭郡大宜味村）

再生可能エネルギー導入の参考とするため、沖縄電力が運営している同設備の運営状況について調査を行いました。

⑥ わしたショップ国際通り店（沖縄県那覇市）

本県の魅力のPR及びぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）運営の参考とするため、株式会社沖縄県物産公社が全国的に展開する沖縄物産の店「わしたショップ」について調査を行いました。

### 厚生文化常任委員会

#### ◎厚生文化常任委員会委員

委員長：金井康夫、副委員長：大和勲  
委員：南波和憲、須藤昭男、橋爪洋介、  
伊藤清、山崎俊之、本郷高明、  
井田泰彦

#### ◎県内調査

★平成29年8月25日(金)

① 沼田市民体育館（沼田市）

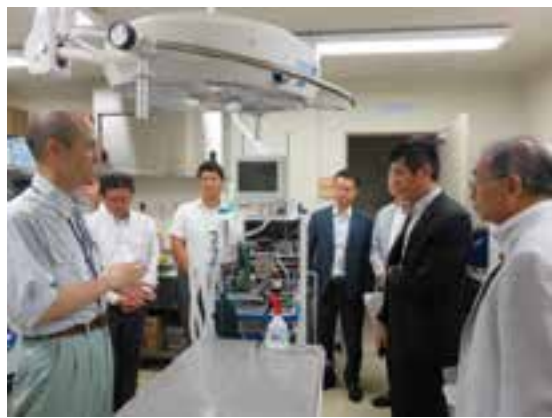
スポーツ振興の参考とするため、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録され、ドイツのフェンシングチームの事前合宿を誘致した、沼田市の取組について調査を行いました。

② 内田病院いきいき未来のもり（沼田市）

社会福祉・社会保障充実の参考とするため、保育園、学童クラブ、デイサービス等が一体的に整備され相互交流を図る、同施設の取組について調査を行いました。

#### ◎県外調査

★平成29年7月25日(火)～27日(木)



旭川市動物愛護センターあにまあるにて

① 旭川市動物愛護センターあにまある（北海道旭川市）

動物愛護行政推進の参考とするため、「飼い主のいない猫の不妊措置事業」を展開している旭川市の動物愛護活動の拠点である同センターの取組について調査を行いました。

② いきいきセンター神楽・神楽保育所複合施設（北海道旭川市）

社会福祉・社会保障充実の参考とするため、高齢者施設と保育所の複合施設として世代間交流を推進している同施設の取組について調査を行いました。

③ 札幌市保育士・保育所支援センター（北海道札幌市）

保育士人材確保や潜在保育士への支援の参考とするため、潜在保育士や保育士養成施設の学生に対して認可保育所等への就職支援・あつせんを行っている同センターの取組について調査を行いました。

④ 一般財団法人北海道難病連・北海道難病センター（北海道札幌市）

難病患者支援や就業支援対策の参考とするため、難病患者の宿泊施設や難病患者就業サポーター制度を導入している同センターの取組について調査を行いました。

### 環境農林常任委員会

#### ◎環境農林常任委員会委員

委員長：清水真人、副委員長：穂積昌信  
委員：久保田順一郎、狩野浩志、中島篤、  
岸善一郎、臂泰雄、薬丸潔、  
小川晶、本間恵治

#### ◎県内調査

★平成29年8月24日(木)



碓氷製糸株式会社にて

① 碓氷川森林組合（安中市）

民間・国と三者協定を締結し、木材を中国に輸出した実績がある同組合の、木材輸出の取組について調査を行いました。

② 碓氷製糸株式会社（安中市）

日本の繭の約6割を生糸に加工する日本最大規模の製糸工場である同社は、本年5月に株式会社へ組織変更し、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録を契機に見学希望者への対応や施設整備にも力を入れています。その取組について調査を行いました。

#### ◎県外調査

★平成29年7月25日(火)～27日(木)

① 山鹿市役所（熊本県山鹿市）

養蚕業振興の参考とするため、民間企業と「新養蚕産業構想に関する協定」を締結し、産地形成を進める同市の取組について調査を行いました。

② 株式会社あつまるホールディングスNSP山鹿工場（熊本県山鹿市）

養蚕業振興の参考とするため、桑栽培から人工飼料生産、養蚕まで一貫して行うプラントを建設し、新養蚕システムの構築を

進める同社の取組について調査を行いました。

③ 球磨焼酎リサイクルン株式会社（熊本県人吉市）

産業廃棄物の適正処理推進の参考とするため、焼酎粕中の有効成分のほぼ全量を、肥料・飼料原料や燃料にリサイクルしている同社の取組について調査を行いました。

④ 山佐木材株式会社（鹿児島県肝付町）

CLT推進の参考とするため、杉CLTのJAS認定やCLT床耐火2時間構造大臣認定を取得し、需要開拓を進める同社の取組について調査を行いました。

※CLT（クロス・ラミネーティッド・ティンバー）とは、一定の寸法に加工されたひき板を繊維方向が直交するように積層接着した木材製品。

⑤ 南那珂森林組合（宮崎県串間市）

林業振興の参考とするため、国内で需要の少ない大径材や低質材の輸出で販路拡大を図っている同組合の取組について調査を行いました。

### 産経土木常任委員会

#### ◎産経土木常任委員会委員

委員長：高橋正、副委員長：荒木恵司  
委員：腰塚誠、岩井均、岩上憲司、  
萩原渉、角倉邦良、大手治之、  
金子渡、加賀谷富士子

#### ◎県内調査

★平成29年8月24日(木)



県道高崎渋川線バイパスにて

① 県道高崎渋川線バイパス（3期工区）道路改築事業（北群馬郡吉岡町）